（第71号）　（毎月1回25日発行）　小田原市報　昭和31年2月25日（土曜日）　（昭和29年10月15日 第三種郵便物認可）

小田原市報
才71号
発行所
小田原市役所
小田原市幸1の138
編集兼発行人
浦寅松
印刷所
又進堂印刷所
定価一部三円

市議会二月臨時会

追加更正予算など十九件を決定

昭和三十年度小田原市歳入歳出追加更正予算その他十九件を審議するため市議会二月臨時会が、去る二月十四日に開かれました。

当日は、午後一時十五分開会、会期を一日と定め、別掲の市会議案才一号「昭和三十年度小田原市歳入歳出追加更正予算」ほか十八件を逐次上程し、鈴木市長からそれぞれ提案理由の説明が行われ、慎重審議の結果、いづれも原案の通り可決され、午後二時五十三分閉会となりました。

次に主なる議案の内容について概略御説明いたします

◇昭和三十年度小田原市歳入歳出追加更正予算

議案才一号「昭和三十年度小田原市歳入歳出追加更正予算」は、白山中学校、酒匂中学校及び伝染病隔離病舎建設工事費並びに日向林道開設事業費、西大友高田線道路改良工事費及び職員の期末手当などを追加した総額一千五百八十四万七千六百六十六円の追加更正予算であります。

追加更正予算の概要は別掲の通り。

◇昭和三十年度小田原市厚生年金保険積立金還元融資転貸住宅事業費歳入歳出予算ほか四件

国においては、厚生年金保険積立金を加入者の福利厚生施設建設資金として、本年度において四十五億円還元融資することになりました。

この還元融資の方法は、国が地方自治体に融資し、自治体がこれを転貸融資をするという方法によるもので今回箱根登山鉄道株式会社の申請に基いて当市が同会社の住宅建設事業費として一千百万円の融資を政府からうけこれを箱根登山鉄道株式会社へ転貸融資することになったのであります。これがため「起債の件」、「特別会計設置の件」「昭和三十年度小田原市厚生年金保険積立金還元融資転貸住宅事業費歳入歳出予算」及び本市と箱根登山鉄道株式会社との間の転貸の約定内容等をそれぞれ議決したものであります。

これによって箱根登山鉄道株式会社は、鉄筋コンクリート三層建一棟（十八戸分）を建設することになりました。

◇市道の認定

入谷津から城山陸上競技場へ通じる「入谷津城山競技場線」（延長一六三米、幅員六米）及び競輪場方面から城山陸上競技場へ通じる「城山競技場線」（延長五三一米、幅員八米）が、それぞれ市道に認定されました。

提出案件

議案1　昭和三十年度小田原市歳入歳出追加更正予算
議案2　昭和三十年度小田原市競輪事業費歳入歳出追加更正予算
議案3　昭和三十年度水道事業費歳入歳出追加予算
議案4　昭和三十年度小田原市公益質屋事業費歳出更正予算
議案5　昭和三十年度小田原市国民健康保険事業費歳出更正予算
議案6　起債について（消防施設）
議案7　起債について（中学校建設）
議案8　起債について（伝染病隔離病舎）
議案9　起債条件の変更について（失業対策）
議案10　起債条件の変更について（漁港修築）
議案11　予算外義務負担について（白山中学校）
議案12　予算外義務負担について（酒匂中学校）
議案13　市道路線の認定について
議案14　特別会計の設置について
議案15　昭和三十年度小田原市厚生年金保険積立金還元融資転貸住宅事業費歳入歳出予算
議案16　起債について（厚生年金保険積立金還元融資転貸住宅事業）
議案17　一時借入金について（厚生年金保険積立金還元融資転貸住宅事業）
議案18　箱根登山鉄道株式会社住宅建設に伴う協議について
諮問1　固定資産評価員選任について

追加更正予算の概要（31.2.14 議決 一般会計）

歳入の部		25.847.666
◇市民税	電気ガス税増収分及び未申告発見による分	2.500.000
◇公営企業及び財産収入	競輪事業益金繰入	5.000.000
◇国庫支出金	図書館充実費国庫補助	74.000
◇県支出金	西大友高田線道路改良費 伝染病隔離病舎建設費、日向林道開設費各補助	9.793.666
◇寄附金	白山中地元寄附金、消防施設寄附金 日向林道開設受益者寄附	3.480.000
◇雑収入	市債に組み替え	△ 3.250.000
◇市債	白山中、酒匂中及び伝染病隔離病舎建設債	8.250.000
歳出の部		25.847.666
◇議会費		101.430
◇市役所費	退職給与金その他	857.993
◇消防費		56.973
◇土木費	西大友高田線改良工事	1.800.000
◇教育費	白山中改築費、酒匂中増築費その他	8.494.692
◇社会及び労働施設費		5.886
◇保健衛生費	伝染病隔離病舎建設費	11.059.704
◇産業経済費	久野日向林道開設事業	3.498.801
◇選挙費		△ 2.858
◇諸支出金		△ 41.500
◇予備費		16.545

前回までの累計額	今回追加更正額	合計
712.299.806	25.847.666	738.147.472

警察広報板

"動く交番" パトロールカー

現在小田原警察署では、二台のパトロールカーにより小田原警察署と松田警察署の管轄区域内を警ら担当地域として犯罪捜査はもとより防犯に、保護に、或は人命救助に昼夜を分たず活躍を続けております。

小田原警察署管内は、これを箱根、湯河原、小田原、足柄及び国府津の五方面警ら地区に区分し、犯罪発生状況などを検討して重点的にこれらの地区を巡回し充実した機動警らを行っております。

昭和三十年中にはこのパトロールカーによって刑法犯一〇九件、特別法令違反二五三一件を検挙し、パトロールカー特有の機動性と能力を遺憾なく発揮しました。また去る一月には小田原市内今井居住の一市民から「大勢の男に殴られ空気銃をとられました」との電話届出があったので直ちに警ら出動中のパトロールカーに無線電話で緊急手配をした結果、事件発生後五十分の後、一味九人の強盗傷人犯人全員を検挙しました。

このようにパトロールカーは本署との連絡をとりながら管内随所を常に警らして犯罪の予防と検挙に努める一方人命の救助や保護、又は急病人の輸送等にもできる限りの措置をとることになっておりますので警察に対する急ぎの用件が生じたときは遠慮なく手をあげて車を停めその事を申出られ「動く交番」としてどしどし御利用下さい。

【写真はパトロールカー】

犯罪防止について

昨年末から本年頭初において強盗、強かん、傷害等の兇悪犯が相ついで発生し今後も多発が予想されわたくしどもの努力はもとよりでありますが、市民のみなさまもなお一層犯罪防止に御協力をおねがいします。

これら犯罪の捜査、検挙の面においてつねに御協力を得て相当の効果をおさめておりますが、みなさまも被害防止のため、各自充分注意されることを望みます

被害の事例についてみると、戸締を忘れたために強盗、空巣、忍込みの被害にかかっているものが非常に多く、また夜間暗いところを一人歩いていたために強盗、強かん、恐喝、傷害等思わぬ被害をうけておりますからこの点について一段と注意が必要と思われます

それからみなさまがつねにお困りの押売りについては、早く連絡していただいたために箸売りの二人組を検挙した実例がありますが押売りが来たならばたとえ被害がなくとも、いち早く連絡してくださればすぐパトロールカーなり派出所、駐在所より参りまして被害を防止いたしますからくれぐれも早く御連絡をお願いします。

わたくしどもはみなさまの御協力によって犯罪の防止、犯人の検挙に一段と努力してよい成果を挙げたいと存じますので心からの御支援をおねがいいたします

建設だより

◇青橋線道路舗装工事

市道青橋線のうち緑四丁目十三番地先（塩坂美容院前）から六四一番地先（旭丘女子高校前）までを都市計画事業の一環として舗装工事するもので工事概要は次の通りです。

（工事概要）延長三二〇、三米、アスファルトコンクリート舗装＝幅員六米（道路の中央）厚さ八糎、アスファルト乳剤舗装＝幅員一、〇一五米（道路の両端）、厚さ五糎、側溝＝U型側溝、延長四九九、三米、幅員〇、三米、工事費二百三万五千円（うち県費補助六十九万円）、二月九日着工、三月三十一日完工の予定。

◇市営片浦診療所新築工事

（場所　市内根府川七七番地）

昭和二十九年十二月一日に小田原市と片浦村の合併に際して作成された小田原市建設計画に基き建設されるもので、市費の外に建設費の三分の一の国庫補助金、六分の一の県補助金及び旧片浦村の国保積立金五十一万五千円があてられます。

（工事概要）

診療室新築　木造平家建日本瓦葺一部亜鉛鍍鉄板葺一棟、建坪一三、五坪
医師住宅新築　木造平家建日本瓦葺一部亜鉛鍍鉄板葺一棟、建坪十三坪
産室新築　木造平家建日本瓦葺一部亜鉛鍍鉄板葺一棟　建坪一〇、五坪
階段室新築　木造平家建亜鉛鍍鉄板葺一棟、建坪〇、七五坪
渡り廊下新築　木造平家建亜鉛鍍鉄板葺一棟　建坪一、二坪
物置新築　木造平家建亜鉛鍍鉄板葺一棟、建坪一、三坪

延建坪四〇、二五坪、工事請負費百六十四万円、年度内竣功予定。

昭和三十一年度市民税の申告期限は三月十五日です 申告はお忘れなく

昭和三十一年度市民税の申告時期が参りました。

この申告をして頂く方は、本年一月一日現在本市に居住しておられる方です。

市民税の申告については、すでにお手許に用紙が届いておることと存じますので申告用紙の裏面を参考にして下さい。

なお不明な点は市役所税務課又は支所で係員が御説明いたしますから御遠慮なくお尋ね下さい。

昭和三十年産米集荷状況

政府への売渡率は一〇〇・一%

本年産米については従来の供出制度にかわって新しく予約買入制度が実施され、農家の自主的予約申込みによって米を政府に売渡すこととなりましたが、本市の予約申込数量は、集荷予定数量をはるかに突破し才一次一一、五〇二石四四升、才二次五〇石六一升、合計一一、五五三石〇五升という好成績をおさめることが出来ましたことは皆様の深い御理解と御協力の賜と感謝しております。

その後、現実に政府に売渡した数量は昨年末において一一、五一六石七四升で予約数量に対し九九・七%で残余の売渡未了数量については予想外の減収により売渡困難な事情にありましたが、幸い皆さまの格別の御配慮と御協力により一月二十日をもって一〇〇・一%という良い成績で売渡しを完了することができましたなお売渡実績は別掲の通りであります。

昭和三十年産米売渡実績（一月二十日現在）

集荷業者名	予約数量	売渡数量	進渉率
足柄農協	三七四石八八升	三七五石六六升	一〇〇、二
荻窪〃	三九、四七	三九、四七	一〇〇、〇
山王、一色〃	一〇、三二	一〇、三二	一〇〇、〇
富水〃	二、一八一、八〇	二、一八一、八〇	一〇〇、〇
久野〃	二二八、三二	二二八、三二	一〇〇、〇
丸二〃	五〇	五〇	一〇〇、〇
丸上〃	一一、九〇	一一、九〇	一〇〇、〇
桜井〃	三、〇九〇、八〇	三、〇九四、四六	一〇〇、一
下府中〃	一、二二七、八〇	一、二二九、〇〇	一〇〇、一
大窪〃	三三、四二	三三、四二	一〇〇、〇
豊川〃	二、二二〇、〇〇	二、二二一、九六	一〇〇、一
上府中〃	一、三三一、六〇	一、三三一、六〇	一〇〇、〇
下曽我〃	二四五、七〇	二四五、七〇	一〇〇、〇
国府津〃	一〇三、〇一	一〇三、〇一	一〇〇、〇
田島〃	二三四、四〇	二三四、四〇	一〇〇、〇
酒匂〃	二一九、一三	二一九、五一	一〇〇、二
計	一一、五五三、〇五	一一、五六一、〇三	一〇〇、一

片浦の鈴木君

農村青壮年代表として渡米

昭和三十一年度派米農村青壮年の一人として、市内片浦の鈴木幾雄君（二十九才）が、全国から選抜された二十名の代表とともに来る三月十八日、日航機で羽田空港から渡米することになりました。

鈴木君は、東京高等農林学校卒業後、農業に従事し、殊に柑橘栽培についての研究努力が買われて本年度派米農村青壮年として本市から神奈川県国際農業研究会を通じて農村更正協会に推せんされ、同協会の選考に合格し、晴れの農業研修生として派米が決定されたものです。

同君らは、加州政府農事普及部の特別計画によって約八カ月間、加州の農家で日米親善をかねて米国農業の実際を体験し、十一月帰国の予定であります。

固定資産評価員の異動

前総務部長黒柳辰次郎氏は固定資産評価員の職を兼務しておりましたが、収入役就任に伴い、固定資産評価員の職を辞する旨申出がありましたので、その後任につき、二月市議会臨時会に諮ったところ諮問案のとおり現総務部長曾我尚夫氏を選任することに同意を得ましたので、二月十四日をもってそれぞれ発令されました。

固定資産課税台帳の縦覧

3月1日～3月20日

市では、固定資産課税台帳の縦覧を三月一日から二十日間、次により実施いたします。

この縦覧は、本年一月一日現在の固定資産（家屋土地、償却資産）の評価額で昭和三十一年度及び昭和三十二年度の固定資産税の課税標準となりますので、市内に固定資産をお持ちの方は納税準備のためにも是非とも縦覧なさるようおすすめいたします。

記

◇縦覧期間　三月一日から三月二十日まで（毎日午前八時三十分から午後五時まで）

◇縦覧場所　市役所税務課
但し豊川、上府中、酒匂、国府津、下曽我及び片浦の地域については各支所

なお本年度の評価額は、昭和三十年度評価額を据置いたものでありますが、決定された評価額について不服があるときは、縦覧期間中において固定資産評価審査委員会に異議の申立をすることができます。

『火事です!! 消防署へ』場所、附近の目標を

火災専用電話

火事は、最初の一分間と言われています。一秒でも早く消防署へお知らせ下さい。望楼では屋内に火がまわり屋根や窓から外へ煙、焔が吹き出した火事でなければ発見できません。そうなつてからでは遅いので火事になつた時は直ちに電話で消防署へ連絡して下さい。

消防署には小田原電話局の『**火災専用電話**』が入つています。火事の電話をかける時は受話機を外し「火事です、消防署へ」と言えば火災専用電話につながります。消防署の応答により火事の場所、附近に目標があればそれをはつきり言つて下さい。この電話は火事以外の用事には絶対に使いませんので何時でも通じます。消防署では火災専用電話が鳴るやいなや出動態勢に入り場所、附近の目標を聞き終つて直ちに現場へ出動します。

小田原電話局以外の電話を利用される時も「火事です消防署へ」と言えば、非常通話の取扱いで直ぐに小田原局へ連絡し消防署の火災専用電話につながります。

火事の知せは落付いて確実に願います。時々次のような電話でこまることがあります。

「私の家が火事です」

「真直ぐ来て突当りです」

これではいくら早く出動しようとしても要領を得ません。場所をはつきり言つて下さい。

消防署の電話は次の通り三本です。

一、**火災専用電話**　番号なし

一、小田原局　**一一九番**

一、小田原局　**四五一番**

盛況だった 小田原よいとこ発表会

二月十八日（土）午後六時三十分から中央公民館で、カラースライド「小田原よいとこ」の発表会が行われました。

カラースライド「小田原よいとこ」は才一回発表以来市民の皆さんに大変好評を戴いておりますが、今回は才四回として「伸びる小田原」ほか四篇が上映され児童合奏団及び楽団ペーアンラスカルの協力出演もあつて大変盛況でした。

今回は市勢発展に一時機を画した一昨年の合併祝賀の模様、市域の数々の風景の紹介などを収めた「伸びる小田原」を始めとして、昭和二十六年六月以来失対事業と勤労奉仕に幾多の佳話を織り込んで完成したグランドの工事進捗状況を綿密に撮りあげた「グランドの建設」、及び小田原で、ま一番大きな事業とされている小田原漁港の建設状況の記録、特にこんどはケーソンの製作過程からその礎定及びミーガム丸出航までを収めた感激的なもの。また、国民の祭典として昨年秋に県下に繰り拡げられた国体の記録スライド「才十回国体」及び、より良い生活へ向つてたゆまない努力を続ける各地区の市民の方々の動きを丹念に撮り集めた「暮しのしおり」才3集など、きれいな色彩による画面に、お友達の顔、自分の後姿、なじみの街角などを見出したりして大変興味深いものがあります。

このカラースライド「小田原よいとこ」シリーズのスライドは、十字町の五十嵐登氏及び令息志郎、重行両氏の撮影及び寄贈によるものであり、これを図書館で編集、解説に雨宮伊之助氏の音楽を入れて製作されたもので、今回発表のものは約四〇〇〇枚のうちから五篇四〇〇コマにまとめられたものであります。

いままでにも市図書館には十三篇の「小田原よいとこ」のシリーズができ上つており今回発表の五篇を合せて十八篇となります。

賑つた 梅まつり菓子展

梅まつり行事の一つとしてさる二月十四日から十六日までの三日間、中央公民館で、小田原梅まつり菓子展示会が、市並びに市菓子商工組合の共催で開催されました。

会場には、市内の菓子屋さんが腕によりをかけてつくつた課題作品をはじめ、市内の在来の銘菓や全国各地から参考出品された銘菓など約一、二〇〇点が陳列されたほか、製菓の実演や即売などが行はれ、連日観覧者で大賑いでした。

審査は、梅にちなんだ製品並びに新作品の課題作品五十点について日大教授守安正氏ほか三名の権威者によつて行われた結果、次のものが入賞と決定いたしました。

◇特選　千代菊（集栄堂本店平井幸次郎）長寿（梅花堂小林喜久男）

◇優秀　梅だんご（錦月久下紀則）潮けむり（松坂屋本店越川金次郎）小梅まんじゆう（丸島製菓下沢連蔵）あけぼの梅（風月堂神保圭介）箱根道中（風月堂石川千徳）梅もち（山口製菓山口辰治）月の衣（正栄堂伊東梅太郎）梅の都（盛月堂総本店川口敬次郎）

◇進歩技能賞　春の香り（正栄堂高橋福三）螢雪（梅花堂小林喜久男）

賑つた会場風景

牛馬耕競技大会の結果

例年の通り本年も去る二月十一日、豊川成田耕地において牛馬耕競技大会が、関係者多数の参加を得て盛大に開催されました。

当日は、市内各地区の代表選手二十名が出場して耕装具の着け方、牛馬や機具の使い方、作業成績等に覇を競つた結果、次の者が入賞と決定いたしました。

優等賞　曾比　府川高雄

一等賞　成田　米山六三郎

二等賞　成田　村越幸年

　　　　下堀　志村　進

三等賞　下堀　志村常雄

なお上位四名の入賞者は、二月二十三日同耕地において開催の県大会に小田原代表として出場し村越君が畦立耕に於て一等賞の栄誉を獲得しました。

共同募金の最終集計まとまる

募金實績額は一〇二・八%

昨年十月一日から三十一日までの一カ月間にわたつて実施された共同募金は、この程最終的な集計がまとまり、本年度目標額一、九一五、〇〇〇円に対し募金実績額は一、九六九、七二七円で一〇二・八%というよい成績を収めることができました。

この間才十回国体後援会の募金が大体時期を同じくして行われたにもかかわらず募金目標額を突破し得ましたことはひとえに市民の皆さまの共同募金に対する御理解と御協力の賜と厚く感謝する次才であります。

なお皆さまからきよ金されたこれらの浄財は、共同募金県委員会を通じて県下の民間社会福祉事業施設に適正に配分されます。募金実績額の内訳は次の通りです。

戸別募金	一、六三二、七五二円
街頭募金	一五二、五八一円
大口募金	五一、〇〇〇円
校内募金	一三〇、六八二円
無人スタンド	二、七一二円
計	一、九六九、七二七円

所得税の確定申告について

小田原税務署

昭和三十年度分所得税の確定申告と才三期分の納税は三月十五日までです。期限におくれないよう早目に申告と納税をすませて下さい。

◇申告用紙は二月二十日頃までに皆様の御手許にお届けいたすことになつていますが三十年新に申告義務の生じた方などで用紙が届かないときは市町村役場または税務署の窓口で交付をうけて下さい

◇確定申告書を期限内に提出されませんと生命保険扶養控除などの諸控除が原則として認められなくなるばかりでなく、余分の税金を納付しなければなりませんから注意して下さい。

◇事業所得の方は、従来行つてまいりました「お知らせ」による個別申告指導を二十四日から逐次実施いたしますので、指定の日、署においで頂いて係員の指導を受けて下さい。

◇農業所得については、市役所を通じて「お知らせ」をいたしますからこれを待つて申告して下さい申告はできるだけ市役所を通じて申告書を提出して下さい。

◇申告書の記入その他疑問点の御問合せなどは、提出期限近くなりますと非常に混雑し満足して戴けるような応対ができかねる場合がありますから、なるべく早目に準備して下さい。

◇申告の「お知らせ」により、また、御質問のためおいでの節は必ずお送りした申告用紙を持参して下さい。また自分で書き込める個所は必ず書き込んでくるか、代筆を依頼されるときは、米穀通帳、保険証書など持参して下さい。

◇給与所得者などで申告を要する方は、源泉徴収票報酬などの支払調書の写などを必ず添付して下さい。

◇医療費、雑損控除など申請される方は必ず領収書支払明細書、被害証明およびその明細書を申告書に添付または記入して提出して下さい。

農村青少年研究発表会の結果

市主催による農村青少年研究発表会が、さる二月七日県立工芸指導所講堂おいて開催されました。

当日の研究発表者は十三名に達し、うちプロジエクト発表者八名、クラブ活動発表者五名で、それぞれ平素の調査研究の結果を発表し農村青少年の農事研究に対する意慾を昂揚するとともにクラブ活動相互の理解を深めました。研究発表終了後、県係官、普及事務所及び市関係者等によつて審査が行われた結果次の通り入賞が決定いたしました。

◇優秀賞

「ヨーゲン撒布による茄子栽培の比較」

桜井4Hクラブ　剣持　正

◇優良賞

「4Hクラブ活動について」

早川4Hクラブ　鈴木栄吉

「柑橘園に対する肥料の共同配合とその効果について」

田島青年団　下川智之

なお、優秀賞の剣持正君は県大会に出場する予定であります。

常任委員会

◇一月十日　才一回総務委員会

◇一月十一日　才一回建設委員会

◇一月十一日　才一回経済委員会

◇一月十二日　才一回水道委員会

◇一月十六日　才一回厚生委員会

◇一月十九日　才二回総務委員会

◇一月十九日　才一回消防委員会

◇一月二十日　才二回経済委員会

◇一月二十三日　才二回建設委員会

◇一月二十三日　才一回文教委員会

◇一月二十五日　才二回水道委員会

◇一月二十七日　才二回厚生委員会

◇二月二日　才二回文教委員会

◇二月三日　才三回総務委員会

◇二月三日　才二回消防委員会

◇二月四日　才三回水道委員会

小田原の歴史

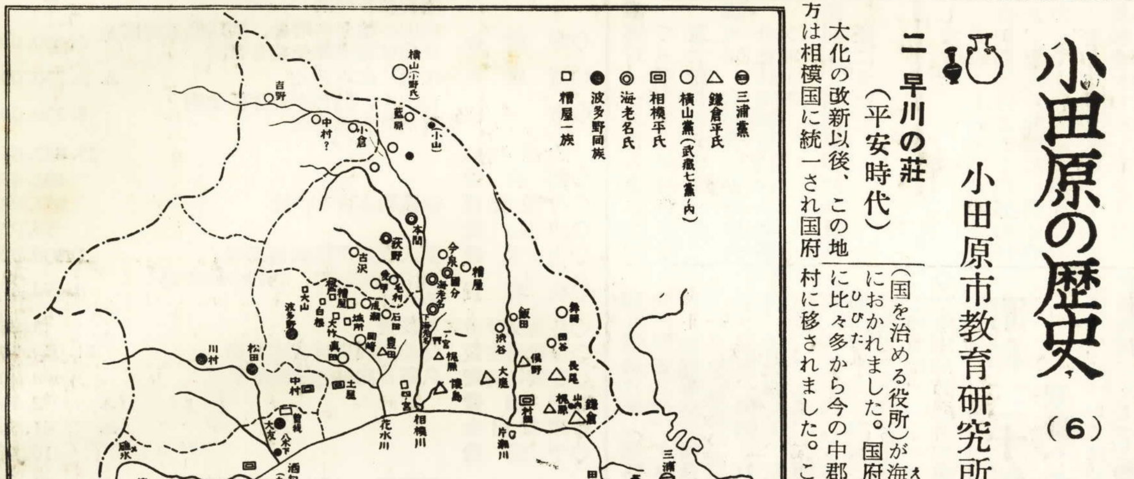
（６）

小田原市教育研究所

二 早川の荘（平安時代）

大化の改新以後、この地方は相模国に統一され国府（国を治める役所）が海老名（えびな）におかれました。国府は後に比々多（ひびた）から今の中郡国府村に移されました。この国府の津（つ）（港のこと）として国府津が生まれ、平安時代から、京都との連絡を船でしていたこともあつたようです。小田原地方も、この相模国の一部となつていましたが、平安の中頃に、全国の荘園（しょうえん）の発達と共に、京都の近衛関白家の所有地となりました。この早川の荘は、小田原、足柄下郡の半分をふくめていました。これによつて、下郡の中心は早川の地に移り、この付近の文化は、早川を中心に発達するようになりました。

この早川のほか、小田原地方には、板橋村（今の板橋、十字町の一部）、谷津村（今の谷津、緑町の一部）が起り、次の鎌倉時代のはじめまでに相当発達していきました。また鎌倉時代以後早川の分村としての小早川村（今の十字町荒久方面）や船方村（万年町千度小路付近）や新宿村（万年町古新宿）などもできてきました。



【図面は相模地方の武士】

鎌倉時代

一 小田原地方の豪族

平安時代には藤原氏が勢いを得て、儀式や遊楽に日を過ごし、貴族が政治を怠つたので、地方の政治が乱れ、武士が起りました。

その頃小田原の地方にも勢いのあるものが方々に城をつくつて、大勢のけらいをしたがえていました。波多野氏と中村氏の一族はそのおもなものです。この二氏の一族と城のあつた場所は、大体次のようです。

波多野氏（中郡秦野）（藤原秀郷（ひでさと）の子孫）─ 河村氏（足柄上郡川村─山北）
　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　└ 松田氏（足柄上郡松田）

中村宗平（足柄下郡中村、小船、小竹、上郡相和村）
- 中村太郎重平（中村氏をつぐ）
- 土肥次郎実平（土肥（湯河原）から小田原間）
- 土屋三郎宗遠（中郡土沢村）
- 二宮四郎友平（中郡二宮）
- 女子（岡崎四郎義実の妻）─（中郡岡崎）↓真田与一の母
- 女子（河津三郎祐泰の妻）─後、曾我祐信の妻↓曾我十郎祐成、曾我五郎時致の母